

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年2月13日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	須河車体株式会社における照明設備更新事業
承認番号	KC1384
排出削減事業者名	須河車体株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	須河車体株式会社 (住所：京都府綴喜郡宇治田原町郷之口馬廻り1番地)
事業の概要	水銀灯と蛍光灯を消費電力の少ない LED 照明に更新することによって電力消費量を抑え、温室効果ガス排出量を削減する。
排出削減量の計画	【限界電源係数の場合】 2012年度： 16 tCO2 2013年度： 61 tCO2 2014~2015年度： 59 tCO2 2016~2019年度： 60tCO2 2020年度： 44tCO2 (事業実施期間合計 479 tCO2) 【全電源係数の場合】 2012年度： 12 tCO2 2013年度： 64 tCO2 2014年度： 62 tCO2 2015~2019年度： 59 tCO2 2020年度： 43tCO2 (事業実施期間合計 476 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2012年12月26日 終了予定日 2020年12月25日
排出削減方法論	方法論番号 006 照明設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2017年12月25日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	147tCO ₂ (2015年4月1日～2017年12月25日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 事業者の営業日カレンダー、電力使用実績、事業者へのヒアリングにより、導入設備が実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 排出削減量の計算のために収集している事業実施前後の電力使用量原単位、事業実施後の活動量が適切にモニタリングされていることを、収集データ及び事業者へのヒアリングにより確認した。 2) 活動量の正確性 事業者の営業日カレンダーと事業者へのヒアリングにより、計算に使用している活動量（点灯時間）に誤りがなく、正確であることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロ

	<p>ジェクト用) Ver.2.9により、排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。また本事業において、リーケージ排出量は発生しないことを確認している。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は 2015年4月1日から 2017年12月25日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020年12月25日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。□</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 71.6kL、熱量換算 2,775GJであることを確認した。

以上